



薬局サーベイランスの 活用例

2010年1月24日大日班会議報告資料より

平成21年度厚生労働科学研究費補助金地域健康管理研究事業
「地域での健康危機管理情報の早期探知、行政機関も含めた
情報共有システムの実証的研究」

研究代表者：国立感染症研究所感染症情報センター大日康史

薬局サーベイランス情報 大分県における活用等について

大分県福祉保健部薬務室

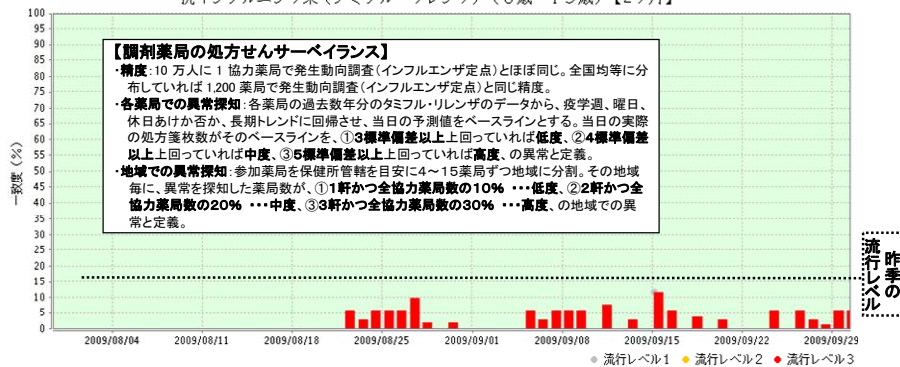
新型インフルエンザに関する大分県での経過

4月25日	海外発生の第一報(国から都道府県へ:メキシコでの流行を確認)
4月27日	WHOの「フェーズ4」宣言(メキシコの死者149人、その他4か国で感染者を確認)
4月28日	大分県新型インフルエンザ対策本部の設置(抗ウイルス薬及び検査キットの卸在庫情報の提供開始)
5月 9日	国内発生(成田空港で日本初の感染者確認)
5月16日	国内初の患者確認(渡航歴のない神戸市の高校生)
6月11日	WHOの「フェーズ6」宣言(74か国・地域で感染者を確認)
6月18日	大分県内で第一号の患者発生(日田市の中学生)
8月30日	薬局サーベイランス情報の提供開始(対策本部健康危機管理対策室へ)
9月 2日	県内本格的流行への対応(対策本部の流行予測:感染者30万人)
10月20日	第42週から、県内に感染症サーベイランス注意報を発令(10.91)
11月 2日	県内流行予測の下方修正(ピークは中旬、感染者10万人)
11月26日	県内全域での流行(47週の報告数は全国最多の77.21人)
1月19日	2010年第2週から、県内の感染症サーベイランス注意報を解除(8.05)

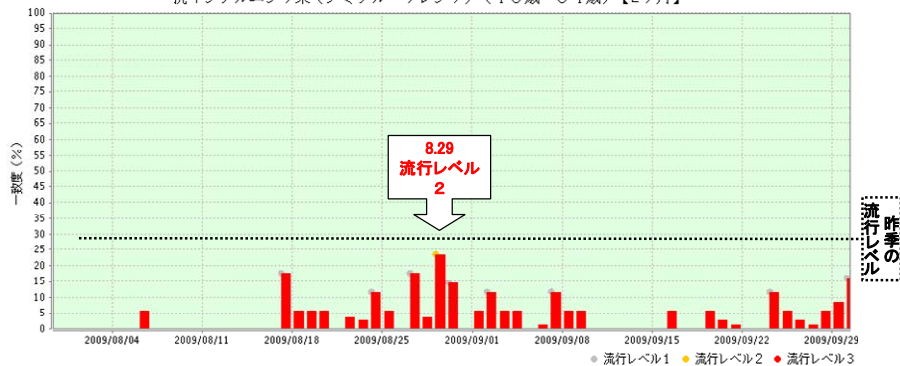
対策本部への資料提供(1)

大分県内の流行状況(2009年9月30日現在) 国立感染症研究所「感染症流行探知サービス」より
 参加保険薬局: 県内 16(大分市 12、東部・中部 2) / 全国 2,499

抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)(0歳~15歳)【2ヶ月】



抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)(16歳~64歳)【2ヶ月】

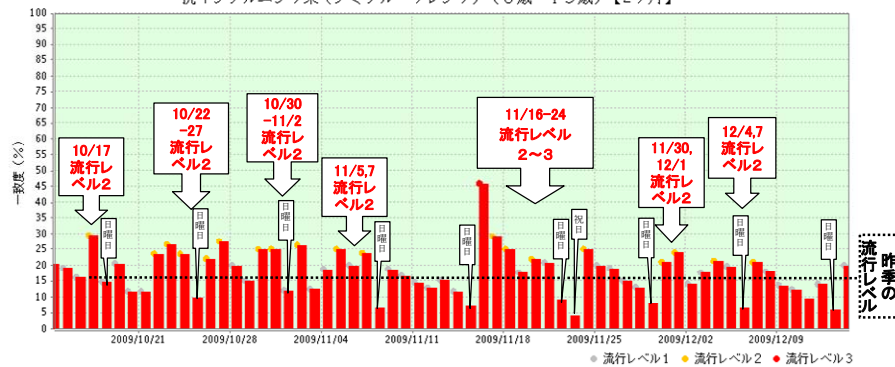


抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)(65歳~)【2ヶ月】

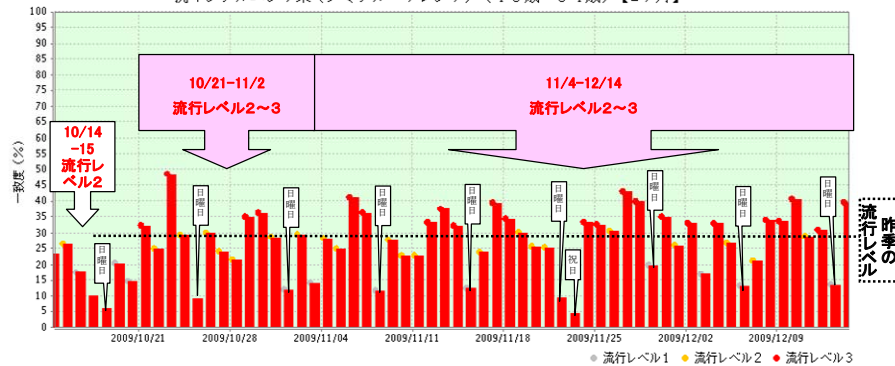


大分県内の状況(2009年12月14日現在) 国立感染症研究所「感染症流行探知サービス」より
 参加保険薬局: 県内 25(大分市 21、その他 4) / 全国 3,447

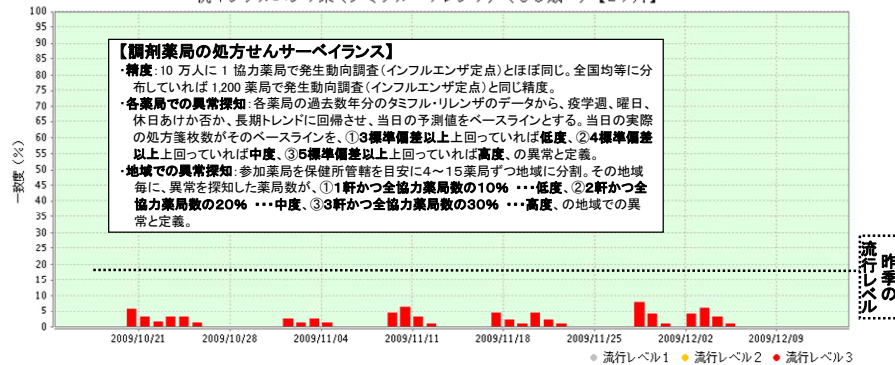
抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)(0歳~15歳)【2ヶ月】



抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)(16歳~64歳)【2ヶ月】



抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)(65歳~)【2ヶ月】



対策本部への資料提供(2)

推定患者数の状況(2010年1月6日現在) 国立感染症研究所「感染症流行探知サービス」より

参加保険薬局: **3,650 薬局** (全薬局の 7.5%)

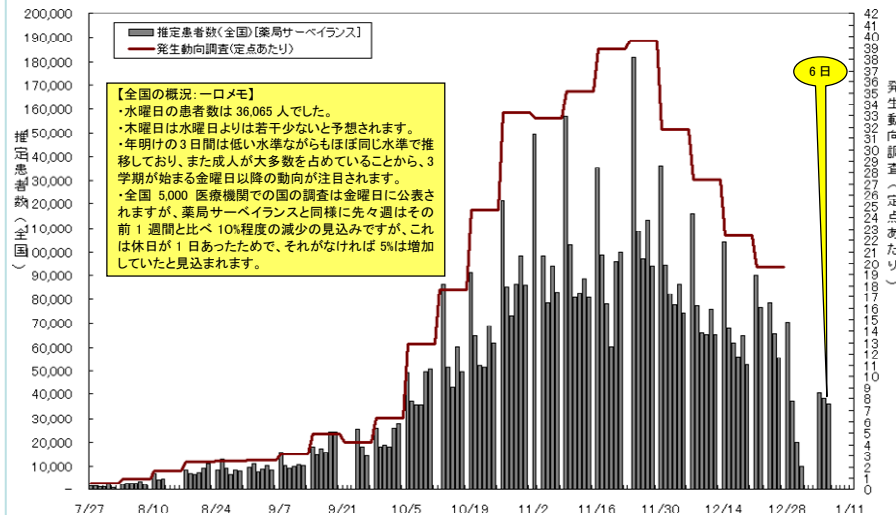
推定患者数: サーベイランス参加薬局の都道府県別のタミフル・リレンザの処方件数に、サーベイランス参加薬局率、院外処方せん率で調整し合計した数のこと。

注意: 薬局サーベイランスによる推定患者数は、発生動向調査に基づいて公表される推定患者数とは異なり、約3倍程度の違いがみられます。したがって、この推定患者数をそのまま用いるのではなく、比較に用いてください。

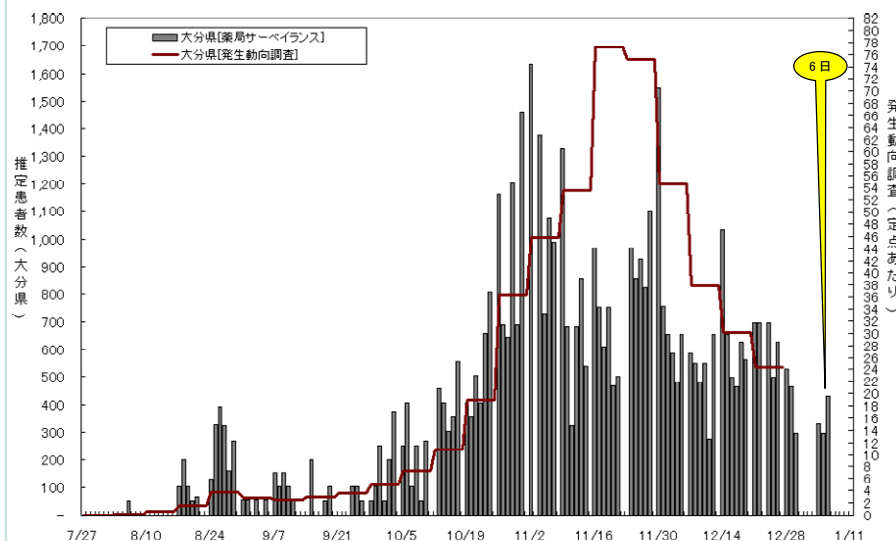
推定患者数: サーベイランス参加薬局の都道府県別のタミフル・リレンザの処方件数に、サーベイランス参加薬局率、院外処方せん率で調整し合計した数のこと。

注意: 薬局サーベイランスによる推定患者数は、発生動向調査に基づいて公表される推定患者数とは異なり、約3倍程度の違いがみられます。したがって、この推定患者数をそのまま用いるのではなく、比較に用いてください。

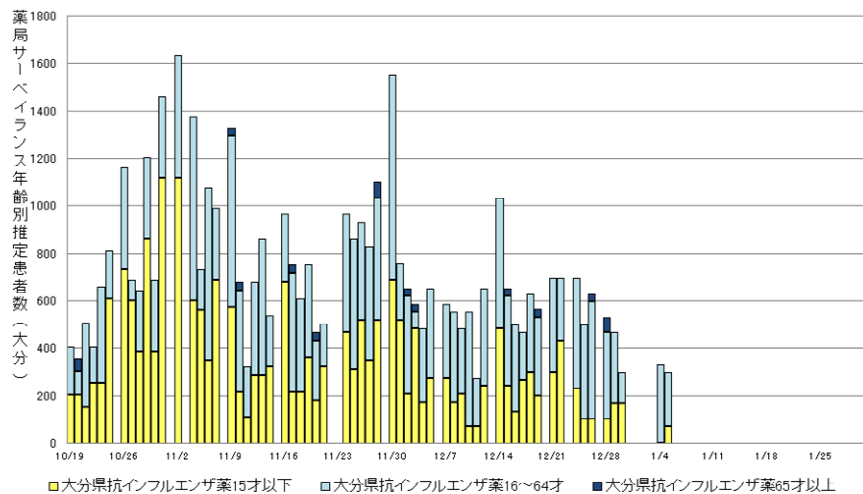
全国の推定患者数(日報)



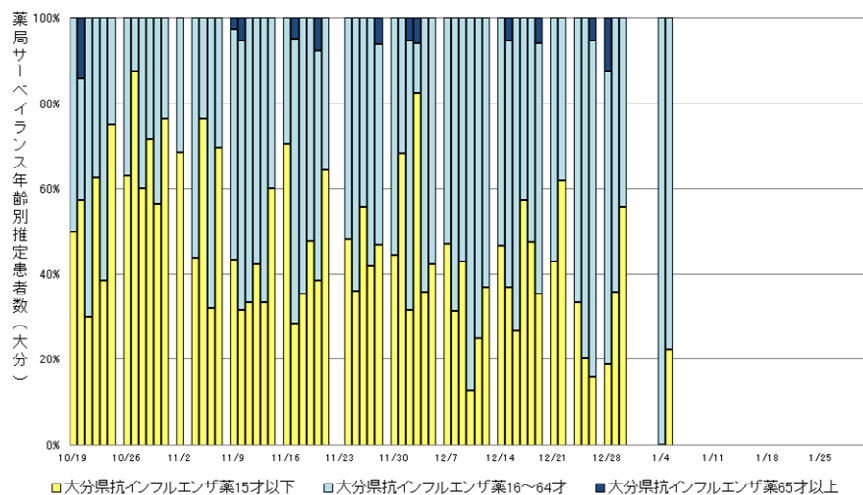
大分県の推定患者数(日報)



薬局サーベイランス年齢別推定患者数_大分



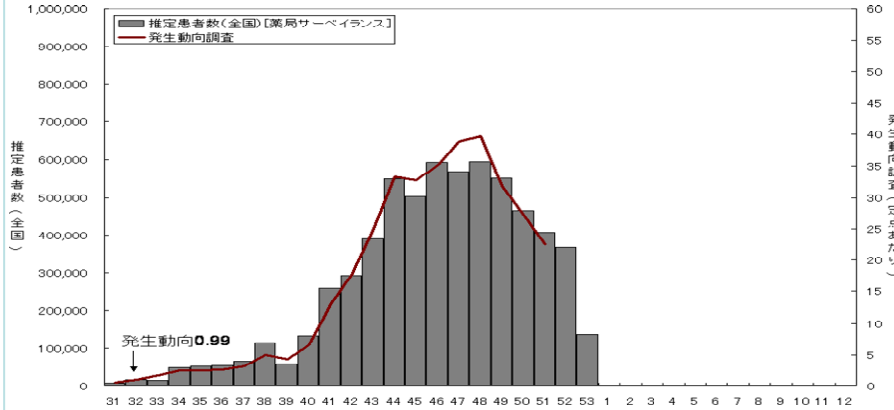
薬局サーベイランス年齢別推定患者数_大分



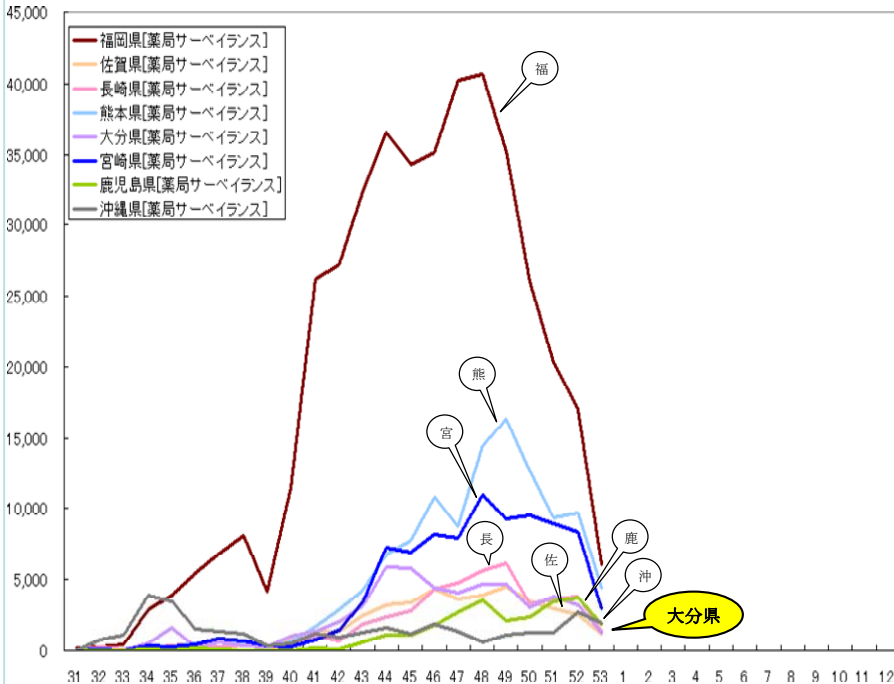
対策本部への資料提供(3)

推定患者数: サーベイランス参加薬局の都道府県別のタミフル・リレンザの処方件数に、サーベイランス参加薬局率、院外処方せん率で調整し合計した数のこと。
 注意: 薬局サーベイランスによる推定患者数は、発生動向調査に基づいて公表される推定患者数とは異なり、約3倍程度の違いがみられます。したがって、この推定患者数をそのまま用いるのではなく、比較に用いてください。

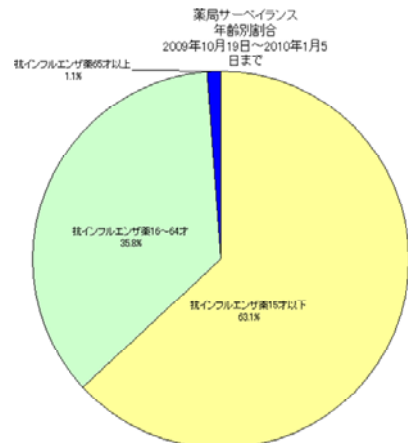
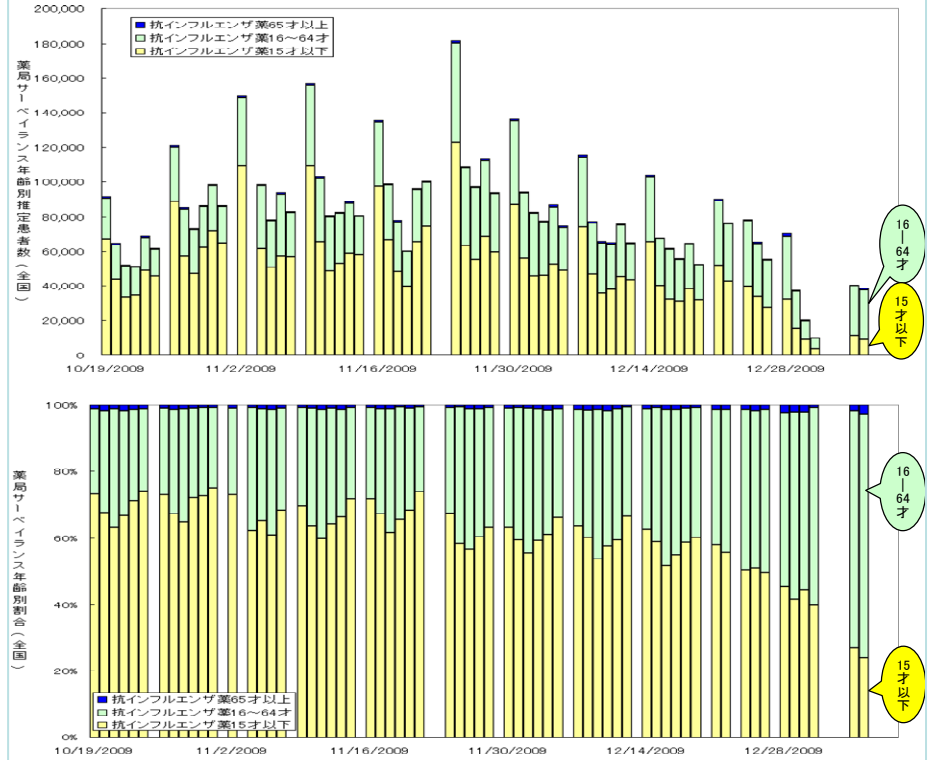
全国の推定患者数(週報)



九州沖縄の推定患者数(週報)



全国



注意: 薬局サーベイランスによる推定患者数は、発生動向調査に基づいて公表される推定患者数とは異なり、約3倍程度の違いがみられます。したがって、この推定患者数をそのまま用いるのではなく、比較に用いてください。

ま と め

- 対策本部への情報提供
 - ◆2009年8月30日～:抗ウイルス薬の流通状況把握の一環として活用を開始
 - ◆2009年11月～:本格的な県内流行を前に、流行予測の資料としても活用
- 感染症サーベイランスに先行して、前日までの動向が迅速に把握でき、有用性は高い。
- 感染症サーベイランスとの比較では、発生のピークが一致しなかった。原因としては、定点の地域的な偏りなどが考えられ、正確な流行予測のためには、地域的なムラを防ぎ、適正な定点数を確保する必要があると思われる。
- 要 望
 - ◆自治体等が、推定患者数や年齢区分等の生データを取り出し、活用できるシステムにしてほしい。
 - ◆より多くの薬局が参加できるように、汎用ソフトの早急な開発をお願いしたい。